



> 春季音楽祭臨場感溢れる演奏会(5月17日)



> 湖濱雅集-「トロイ」屋外映画祭(10月28日)

生活機能の多元性と充実性

親水景観公園完成、各種イベントの開催

2004年3月に続けて休暇緑地区域・歩道・景観パビリオン・曲橋施設を設置した親水景観公園、西拉雅広場・霞客湖・道爺湖と迎曦湖等が完成される。西拉雅広場内には大小各種演劇場あり、規模や性質の異なる各種イベントや演劇の使用に提供できる。本管理局と園区企業は2004年8月・10月と11月の間にそれぞれ南科ビール祭り・屋外映画鑑賞会・音楽会を開催し、また、各界に開放し各種文芸・休暇イベントの開催場所を提供している。2004年12月1日から本管理局は特別に釣り許可証を発行し、各景観湖での釣りを開放し、園区従業員は湖畔での優雅な釣りを享受できるようになった。



> 第一期VIP管理職用宿舍



> 霞客湖

サービスの継承と国際レベルホテルの誘致

会計士事務所・法律事務所・旅行社・証券会社と銀行の園区内駐在の他に、2004年7月12日にはオンラインネットワークサービス業の誘致に成功し、2004年11月20日より園区内で運営開始されている。この他、交通銀行は2004年10月に南科支店を設立し、多様な金融サービスを提供している。

園区内の生活機能を更によりよくさせるために、園区従業員と商談来訪者のための宿泊施設・レストラン・教育訓練所や会議場等全方面的なサービス機能を充実させるために、台南園区は他の園区に先駆け、行政サービス区域西南側にBOT形式によるビジネスホテルの建設を計画し、公開落札を行い、国賓飯店(Ambassador Hotel)は2004年12月28日の選評会において群を抜き選ばれ、国内で初の園区進駐ホテルとなる。



> Park17モール



> 端午の節句にて日系企業粽作りイベント(6月19日)



> 日系企業従業員によるビール祭り(8月27日)

生活機能強化処置

多忙な科学技術者達の生活需要を満足させるために、園区内に優れた休暇スペースを提供—Park17。Park17には多種多様なスタイルの西洋レストランや軽食レストランがあり、更には地方色溢れる軽食スペースも備えており、園区内従業員の多様な需要を満たしている。Park 17スペースが園区内生活の休暇兼ビジネスの拠点となるよう、統一超商と共に2004年度において11回も音楽祭を開催し、各界より大きな反響を呼んでいる。

南科の従業員と商談来訪者が園区内の環境理解の便宜を図り、園区内の生活ガイドラインの提供を試み、本管理局は台南園区の「生活地図」と「安全連絡及び生活情報ガイド」、日本語版企業誘致パンフレット・工業ビジネスパンフレット、中・英・日の年間報告書などの宣伝パンフレットを製作している。各界において公開し自由に取得できるようにしており、大変な好評を得ている。

多様化された海外商社へのサービス

台南園区には日系企業11社・アメリカ企業3社あり、総外国籍従業員182人いる。サービスには国境がなく、言語の隔たりを解消するために、本管理局は2004年1月20日に「外商小組(海外企業チーム)」を設立し、海外資金企業が如何なる問題に直面したときであっても、本チームを通して迅速な解決が得られるように組織されている。

日系企業に対して積極的なサポートシステムの一つに、本管理局は2004年3月6日に「日系企業従業員交流会」を開催し、台南園区内における日本国籍人員の事務サポート・福利保障を推進し、園区内日系企業同士の交流や親睦活動を促し、不定期にシンポジウム・文芸活動・訪問イベント等を催し、日本国籍従業員間の交流を促進させている。2004年において計4回イベントが行われ、参加された日本国籍人員と親族は延べ210人に達し、かなりの反響を呼んでいる。

更に、赴任者同伴親族が台湾での生活に慣れさせるために、2004年1月10日に「日系企業妻の読書交流会」が設立され、本管理局局長夫人劉瑞珍博士が会長となり、当日に第一回目のイベントを執り行われた—興達港カラスミ製造見学・試食会。その後続けられた一連のイベントも全て好評を得ている。2004年計2回行われ、参加された日本国籍人員と親族は75人に達する。



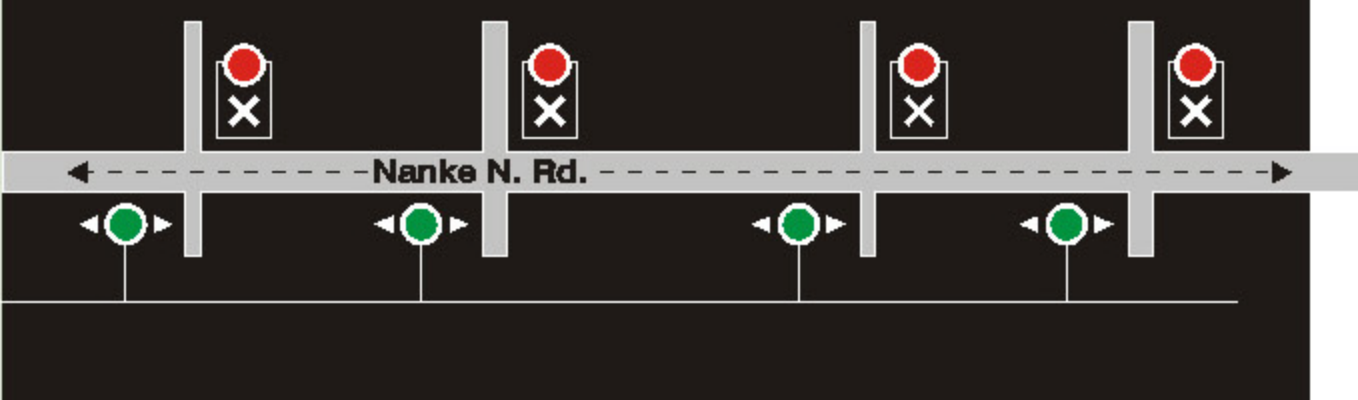
行政サービス区域が小型世界貿易センター化

行政サービス区域の面積は11ヘクタールあり、2005年1月30日に落成式典が執り行われた行政ビル・保安警備ビル・国家高速ネット電算機器センタービル、2005年5月に起工され2007年中に完成予定される国賓飯店(Ambassador Hotel)の他に、国際会議展示会センター(国際会議場含む)と金融センター等の施設は、2005年10月に起工され2007年12月完成予定される。将来において南科世界貿易センターとして大きな局面を見せるであろう。

積極的な交通管理

園区内外の交通改善をするために、園区内主要幹線道路50メートル道路(南科南北路と西拉雅大通り)全線信号制御・支線流動統合システム・段階式信号システム等を用いて有効に車両の停車回数を減らし、輸送時間の短縮に役立ち、園区内の交通をより便利なものにしていく。また、園区内事故多発地点の改善にも取り組んでいる。例えば、南科南路南側外環道路と南134の交差点・西拉雅大通りと環東路交差点等において、新たな道路設備と時差信号システムを設け、歩行者の需要に合わせた自動調節システムを取入れ、交通の安全とスムーズさが増す。

園区新港社大通り(園区南側外環道路)通勤ラッシュアワーの渋滞を緩和するために、台南県政府より台南県警察局交通隊と善化分局に警察の交通整理増員がお願いされ、新港社大通りと台1省道・国道8号新市インターチェンジと南科連絡道路などの交差点において、通勤時間の警察人員による交通整理方式を取り、有効にラッシュアワーの渋滞緩和をもたらした。



＞ 南科南北道路段階式信号システム